

Chiba Weekly Report

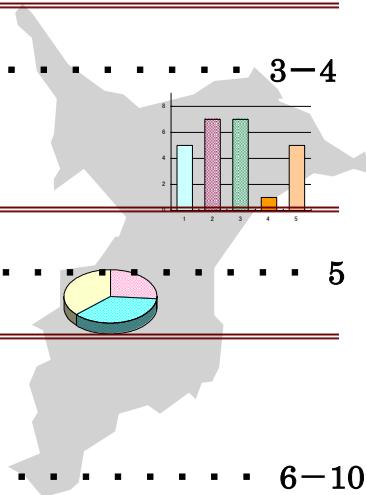
2017 — 第37週 — 2017/9/11~2017/9/17

千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

梅毒



全数報告疾患集計表 5



定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・百日咳・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・百日咳・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2017年 第37週

上段は定点当たり報告数

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

下段は報告数

定点	疾病名	流行状況	コメント	37週	36週	35週	34週	33週
小児科	小児科定点医療機関数			131	134	134	133	133
	RSウイルス感染症		海匝(3.5)、松戸(3.0)	1.77 232	1.85 248	2.34 313	1.69 225	0.98 130
	咽頭結膜熱		野田(1.3)、印旛(1.1)	0.45 59	0.49 66	0.43 57	0.54 72	0.47 63
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		香取(4.7)、君津(4.5)、柏市(4.0)	2.29 300	1.94 260	1.27 170	1.28 170	0.94 125
	感染性胃腸炎			2.64 346	2.85 382	2.88 386	2.38 317	2.02 269
	水痘			0.18 23	0.12 16	0.12 16	0.17 22	0.17 23
	手足口病		【警報中(県内)】海匝(12.3)、船橋市(10.2)	6.19 811	5.66 759	7.00 938	7.69 1023	5.50 731
	伝染性紅斑			0.02 2	0.08 11	0.19 26	0.02 3	0.03 4
	突発性発しん			0.44 57	0.49 66	0.37 49	0.47 62	0.31 41
	百日咳			0.02 3	0.01 1	0.00 0	0.00 0	0.01 1
	ヘルパンギーナ		香取(4.0)、柏市(3.6)、海匝(3.3)	1.82 238	2.28 305	2.30 308	2.66 354	1.74 231
	流行性耳下腺炎			0.25 33	0.28 37	0.25 34	0.18 24	0.14 19
インフルエンザ*	インフルエンザ定点医療機関数			208	213	213	212	212
	インフルエンザ*			0.26 55	0.17 37	0.10 21	0.07 14	0.12 26
眼科	眼科定点医療機関数			34	35	35	35	34
	急性出血性結膜炎			0.03 1	0.00 0	0.06 2	0.03 1	0.03 1
	流行性角結膜炎		印旛(2.8)	0.68 23	0.97 34	1.11 39	0.83 29	0.53 18
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.33 3
	マイコプラズマ肺炎		5～9歳1例、20代1例	0.22 2	0.22 2	0.44 4	0.56 5	1.11 10
	無菌性髄膜炎		90代1例	0.11 1	0.22 2	0.00 0	0.11 1	0.11 1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1
全数	風しん			0	0	0	1	0
	麻疹			0	0	0	0	1

備考

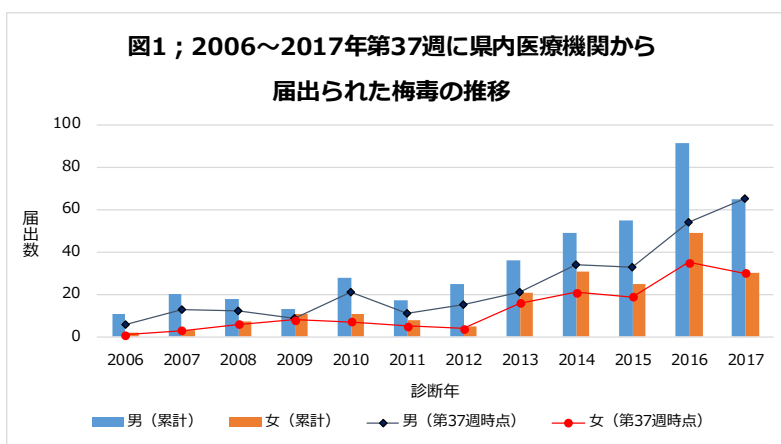
増加 やや増加 変化なし やや減少 減少

※全数届出の項目は、診断日と報告日が異なるため、数字が変動することがあります。

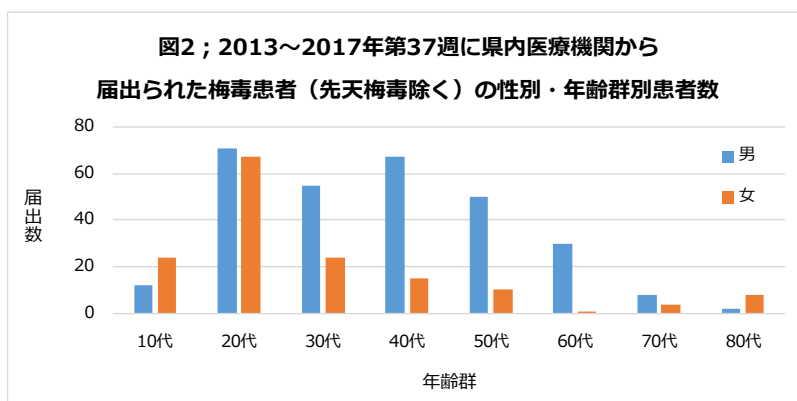
【今週の注目疾患】

【梅毒】

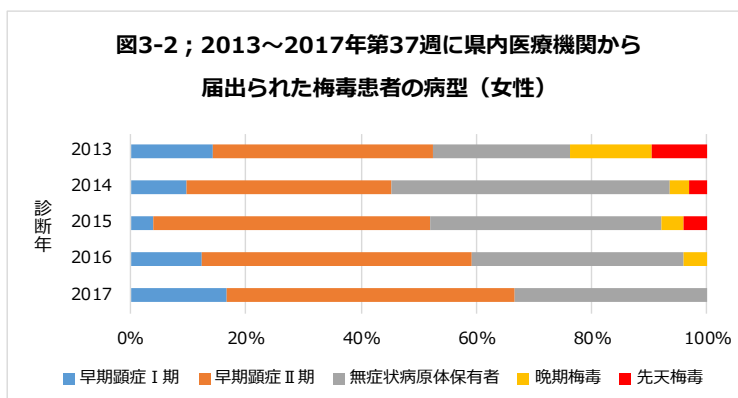
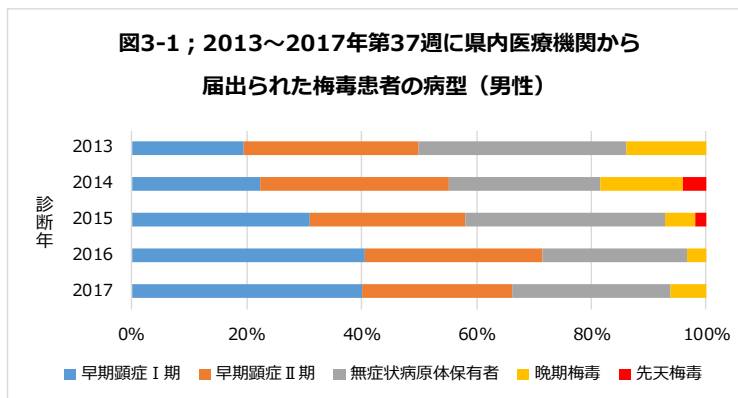
2017年第37週に県内医療機関から3例の梅毒の届出があり、2017年の梅毒の累計は、96例となった。全国の梅毒の届出は2010年以降増加傾向が継続しており、千葉県においては2006年以降から増減を繰り返しながら増加傾向にあったが、2016年は前年比60例増と大きく増加した。2017年第37週時点での届出数96例は、昨年同時期(89例)を上回り、より一層の梅毒対策が必要である。性別では男女ともに届出数の増加が見られてきたが、2017年は男性患者の届出に占める割合が高く、第37週時点の届出は65例(昨年同時期54例)となっている。一方、女性は昨年同時期と比較するとわずかに減少し第37週時点の届出は31例(昨年同時期35例)である(図1)。



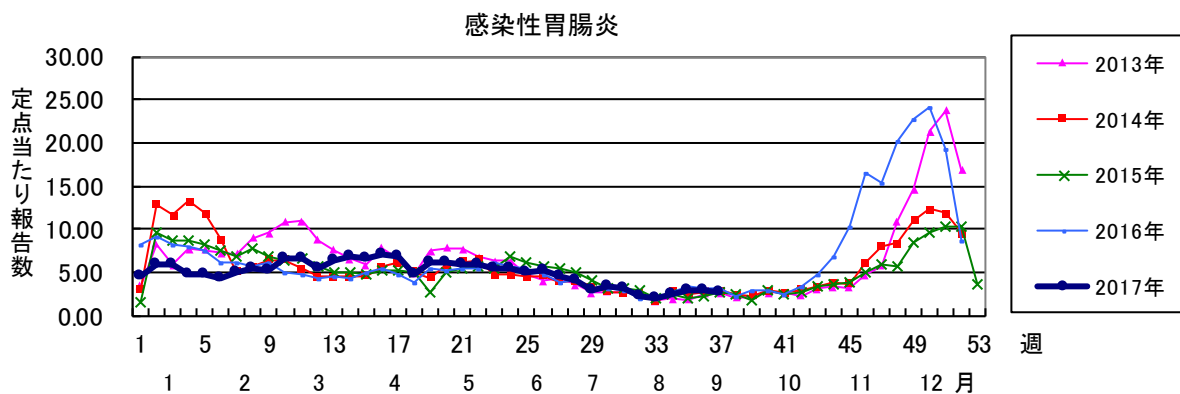
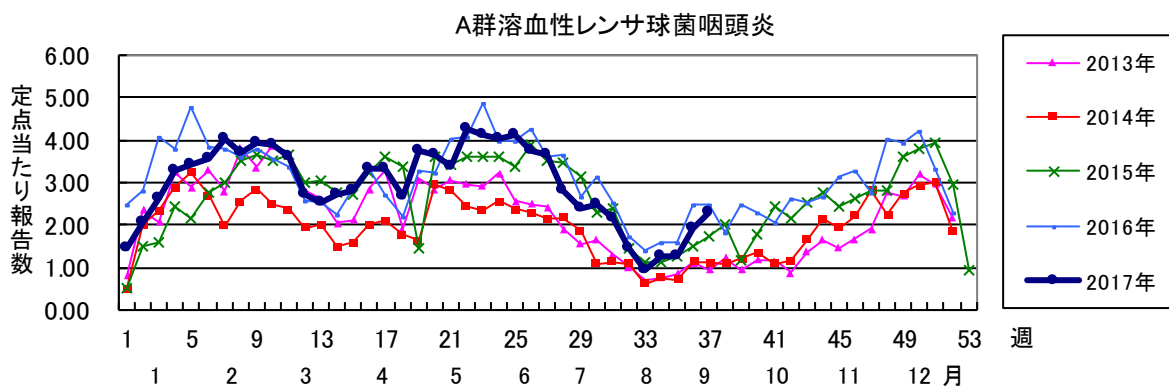
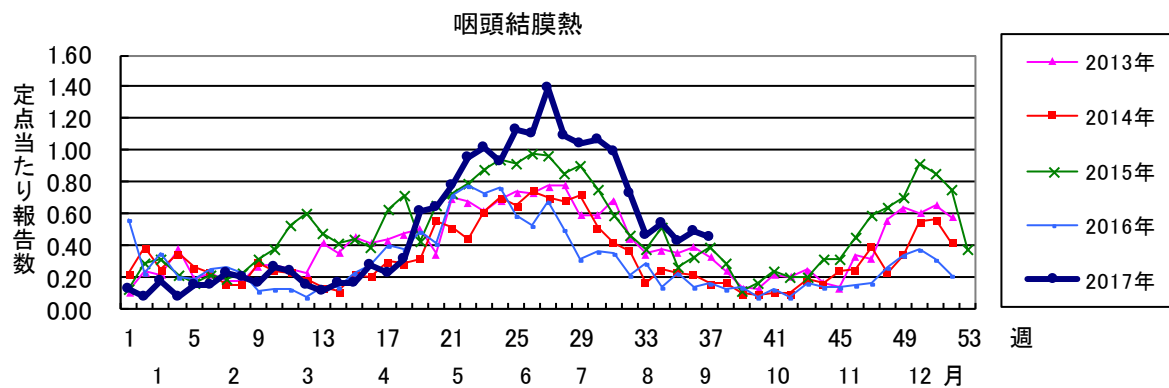
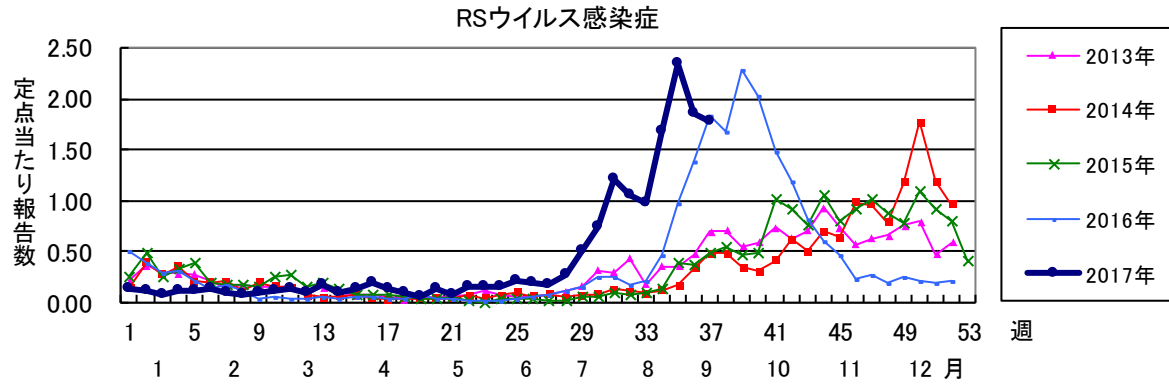
年齢群別では、男性は20代～50代の幅広い年齢群のピークを示すが、女性は20代に明らかなピークを持つ(図2)。10代では女性の届出が男性より多く、2013年以降の女性の届出のおよそ15%が10代であった。

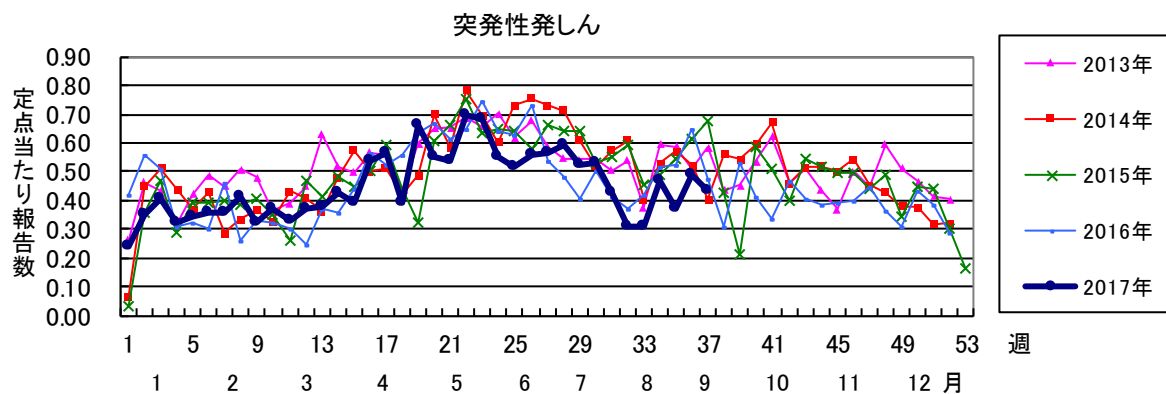
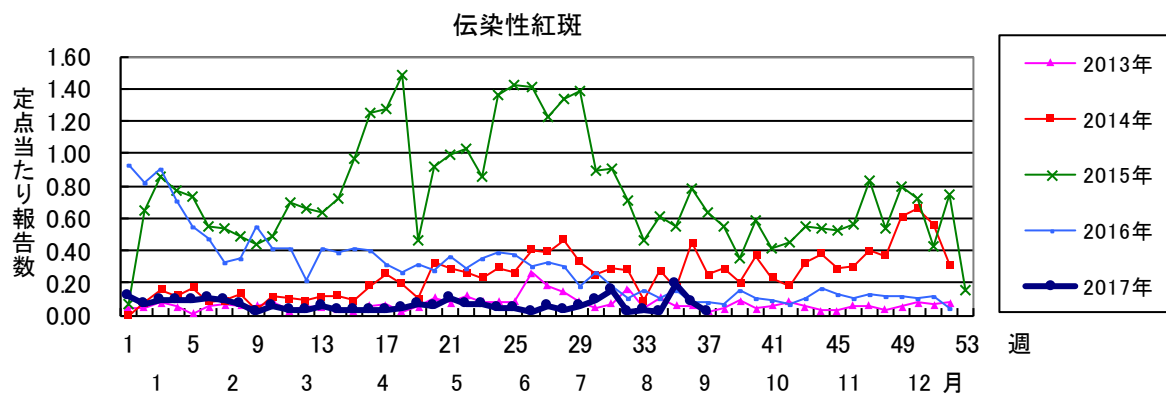
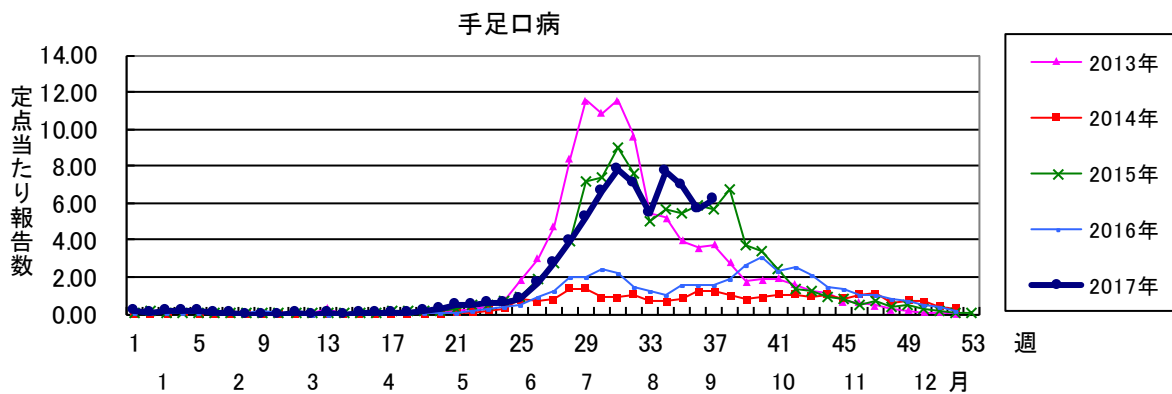
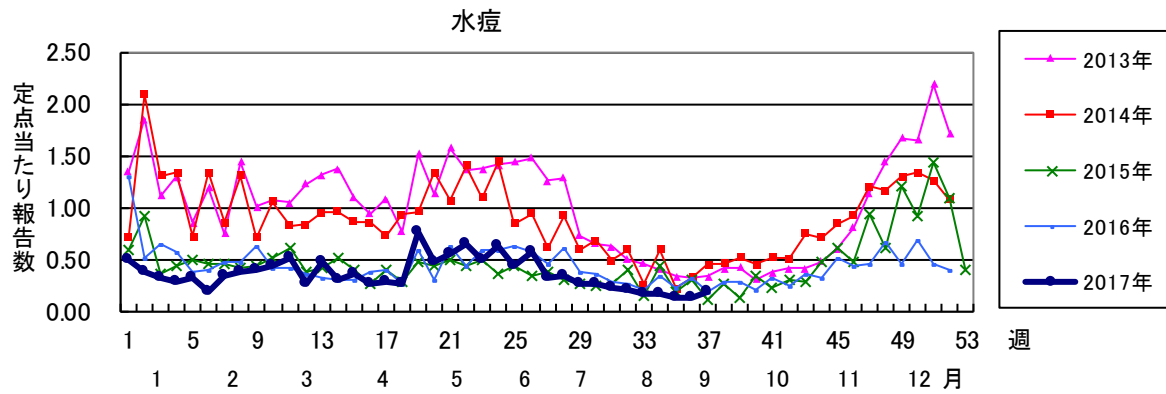


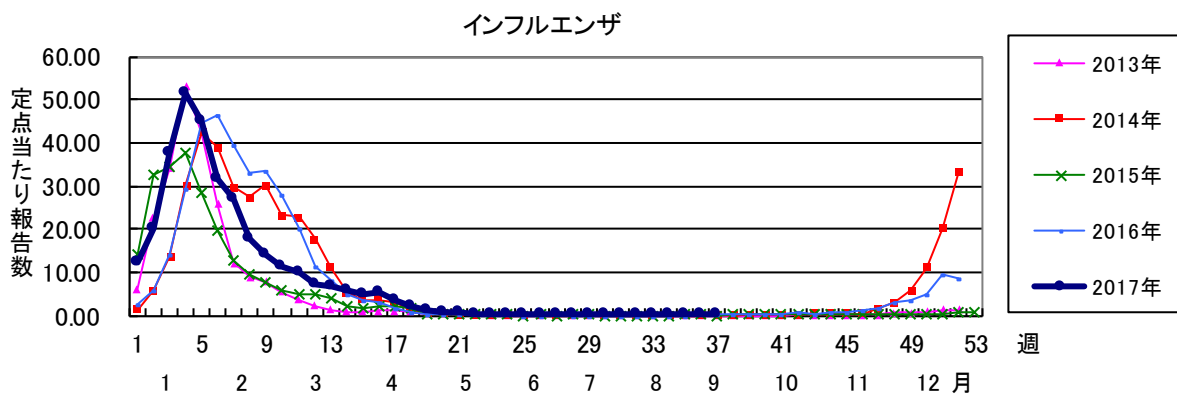
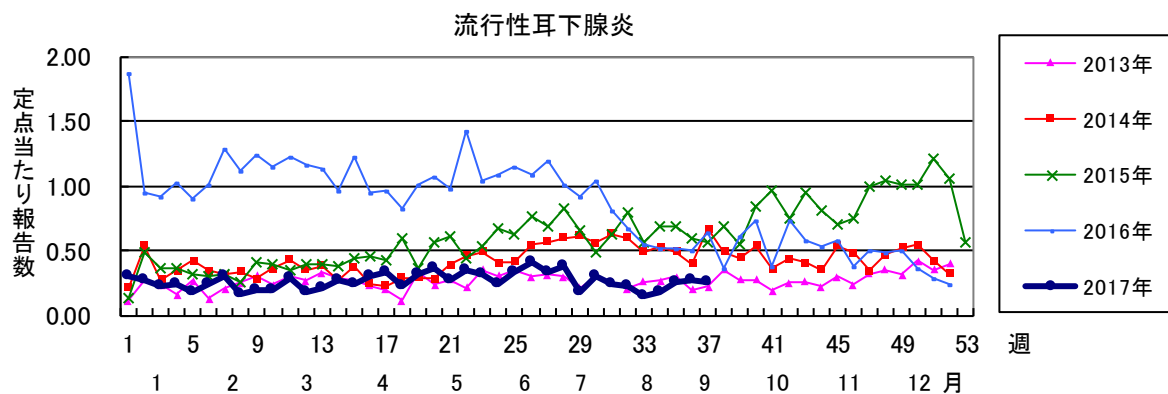
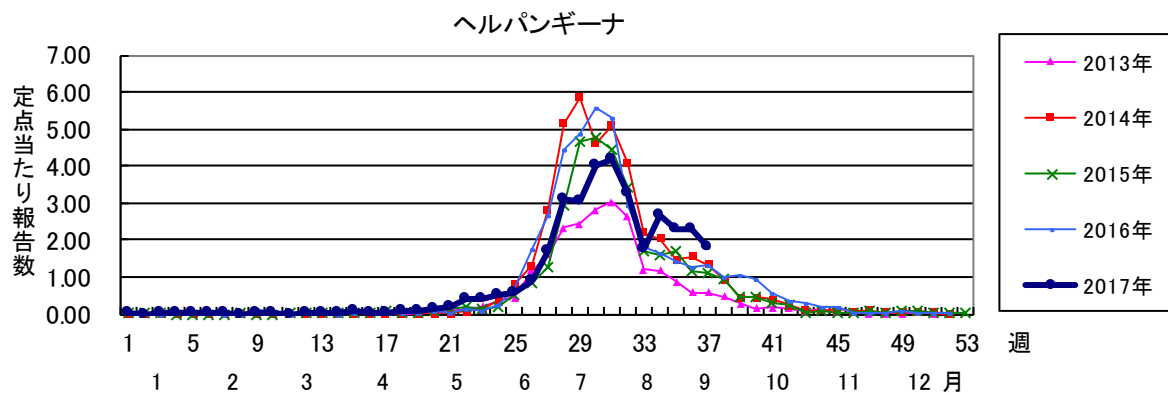
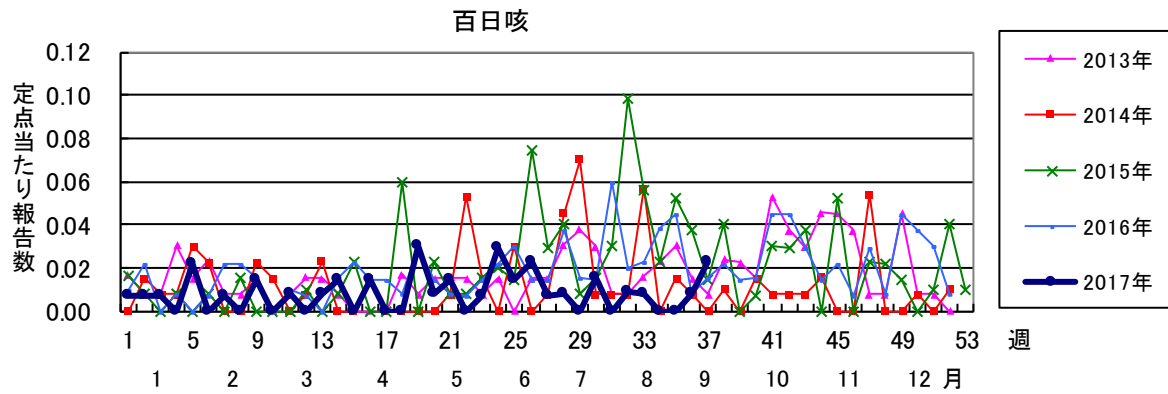
届出における病型別では、男性は早期顕症Ⅰ期、女性は早期顕症Ⅱ期としての届出が多く(図3-1、3-2)、男女ともに早期顕症(Ⅰ期およびⅡ期)の割合が増加していることは、梅毒に関する情報の認知向上とも考えられるが、正確には不明である。感染経路においては、男性で異性間性交によるとされた届出が増加しており、女性の梅毒の増加にも影響している可能性が考えられる(同様に女性の梅毒増加が男性の梅毒の増加に影響)。

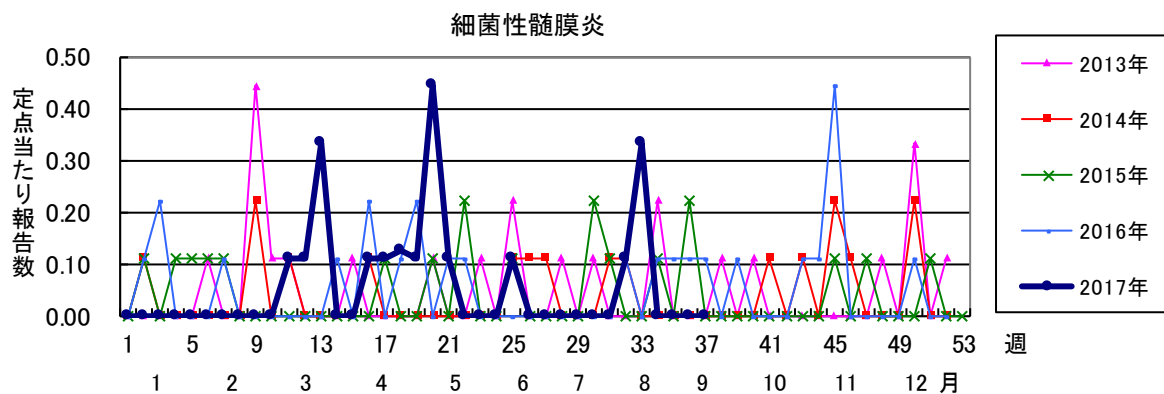
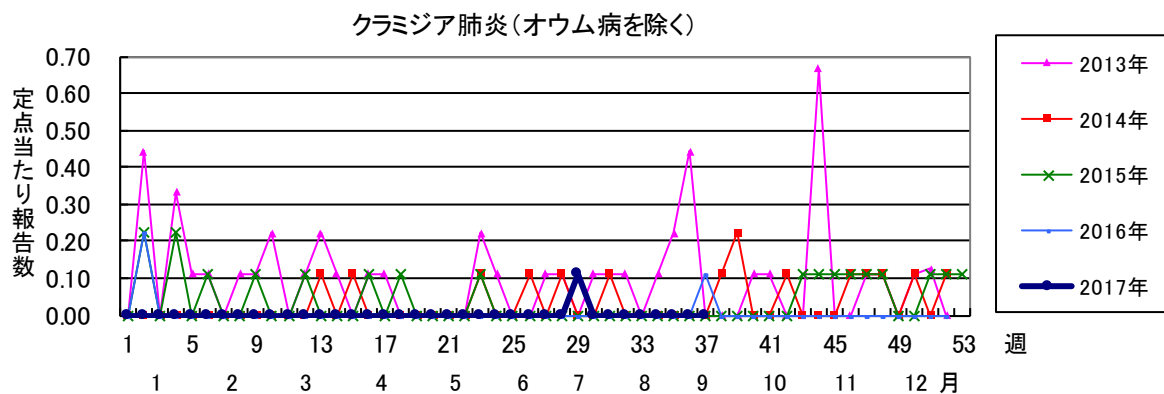
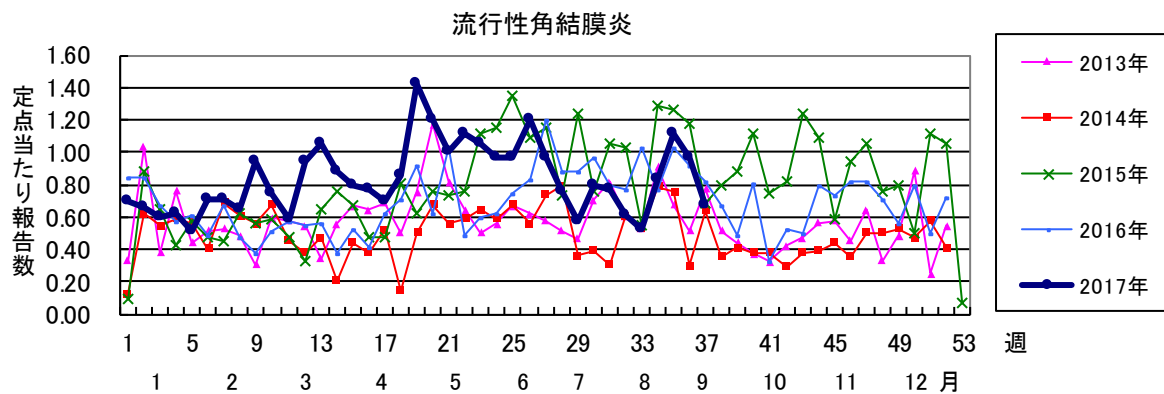
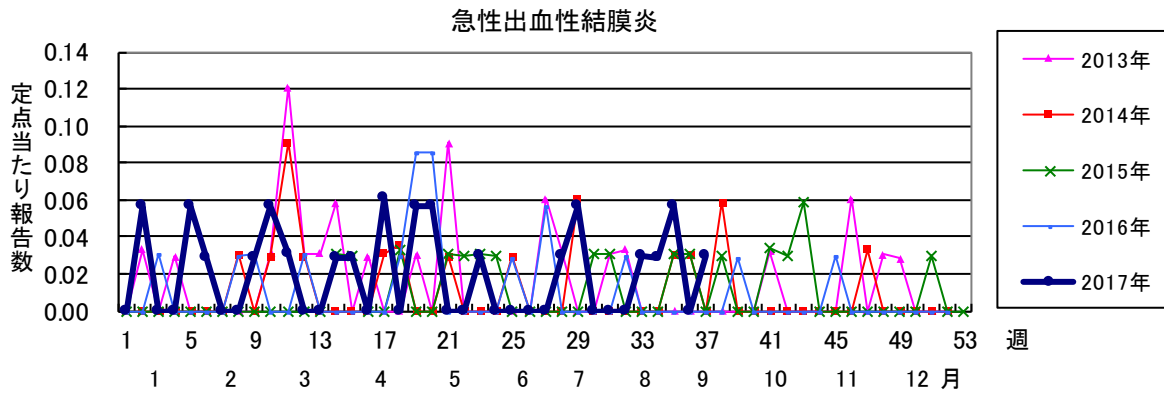


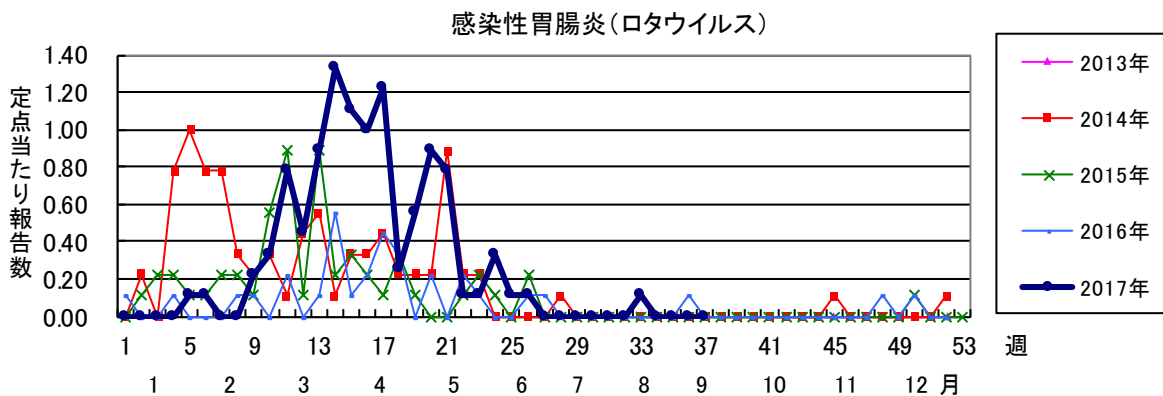
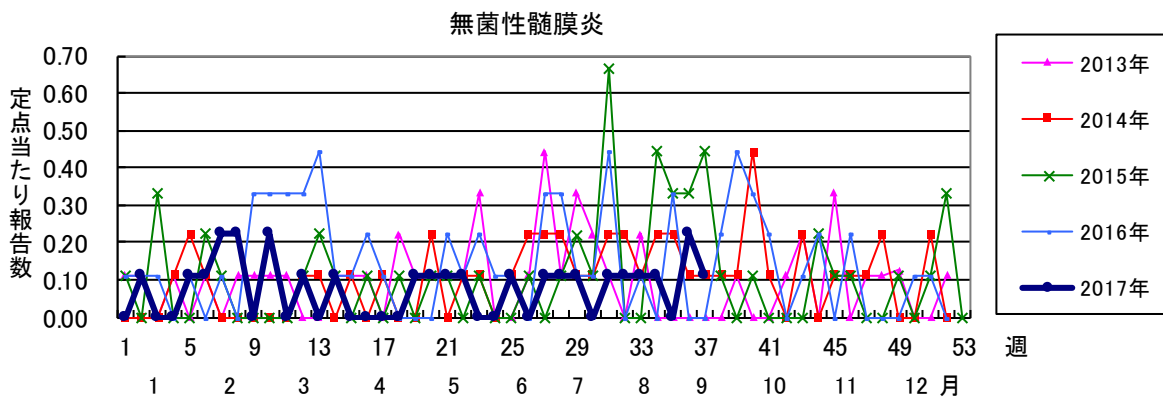
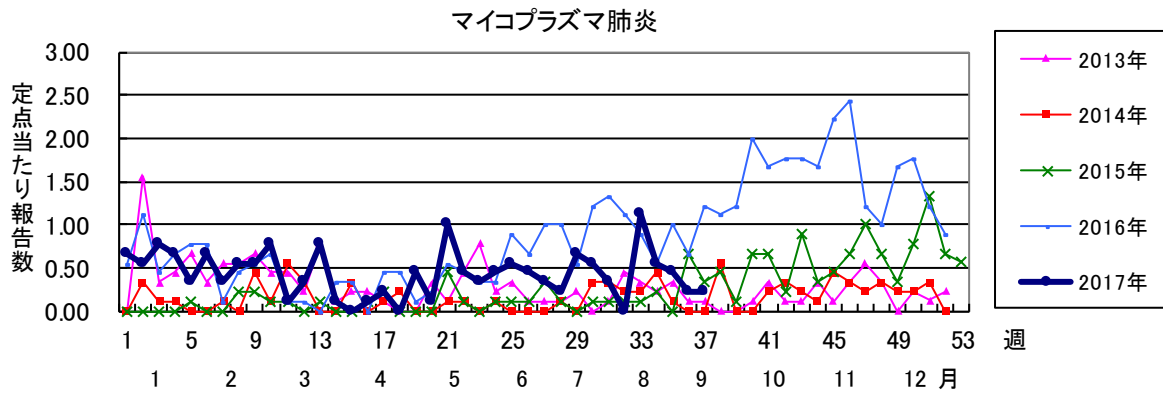
梅毒の感染連鎖を防ぐためには、感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受け、必要に応じてパートナーに対しても教育・啓発、検査等を実施する必要がある。梅毒は不特定多数の人との性的接触はリスク因子であり、その際にコンドームを適切に使用しないことがリスクを高めること、オーラルセックスやアナルセックスでも感染すること、梅毒は終生免疫を得られず再感染することなど、リスクの高い集団に対してのみならず、広く梅毒について啓発をしていく必要がある。











2017年 第37週 保健所別、年齢群別報告数(男女合計) No.1

		野田	柏市	松戸市	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海浜	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計	
小児科定点数		4	8	16	11	11	10	16	16	3	4	6	4	3	4	8	7	131	
RSウイルス感染症	～5ヶ月	2		4	4	1	2	4	8		1		1			1	1	29	
	～11ヶ月		4	7	5	5	2	4	5	1	5		2			1	1	42	
	1歳		4	19	5	12	4	17	13	5	3		2		1		4	93	
	2歳		1	10	6	3	1	4	5	1		1	2					34	
	3歳			5		5	1	1	6		1							19	
	4歳			2		1			4		1							8	
	5歳			1							2		1					4	
	6歳								1		1							2	
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳								1										1
	15～19歳																		
	20歳以上																		
合計		2	9	48	20	27	10	31	42	7	14	5	8		1	2	6	232	
咽頭結膜熱	～5ヶ月																		
	～11ヶ月			1					3			1			1	1		7	
	1歳			3	2	1		1	5									12	
	2歳			1		1	1	1	3							2		9	
	3歳	1	1	1				1	1									5	
	4歳	2		2												1		5	
	5歳			1	1		2	2	2	1	1							10	
	6歳	2			1	1			1									5	
	7歳								1									1	
	8歳																		
	9歳		1	1														2	
	10～14歳								1		1							2	
	15～19歳								1									1	
	20歳以上																		1
合計		5	2	10	4	3	3	5	18	1	2	1			1	4		59	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	～5ヶ月															1		1	
	～11ヶ月							1					1					2	
	1歳			2	2		1		2							3		10	
	2歳			4		1	1	1	2	1			1			5		16	
	3歳		4	5		2	1	7	4	3	1		1			4		32	
	4歳		2	9		5	4	6	5				2			3		36	
	5歳	1	2	3	1	7	2	3	9	2	1	3				3	1	38	
	6歳	1	2	7	2	7	3	5	5		1	1	1		1	3		39	
	7歳	1	5	4	1	1	1	3	5	2		2				4		29	
	8歳		4	3	3	4		2	3							1		20	
	9歳		2		2	4		1	3	1			1			2		16	
	10～14歳		3	4		1	1	3	4	3			3			4		26	
	15～19歳	1	3					1		1		1	2					9	
	20歳以上	1	5	1	1	1	2	1	4	1		2	2		1	3	1	26	
合計	5	32	42	12	33	17	33	46	14	3	9	14		2	36	2	300		
感染性胃腸炎	～5ヶ月			1	2		2	1										6	
	～11ヶ月		5	3	5			2	1		2						2	20	
	1歳		6	14	10	4	3	10	4		10					1	2	64	
	2歳		2	13	1	6	3	10	1				1				1	38	
	3歳		4	9	3	1	2	4	6		1					1		31	
	4歳		1	8		3	1	8	1		1			1		1	1	26	
	5歳		1	5	1	2		1	1		1	1				1		14	
	6歳		3	4		2	1	2	2			2			1		1	18	
	7歳			4	2	2	1	1	1			1						12	
	8歳		1	3	1		2	2	2									11	
	9歳			2		1		3	1		1				3	2		13	
	10～14歳		6	2	2	1		7	6			5	2				1	32	
	15～19歳		1			1			1		1	2		1			1	8	
	20歳以上		10	3	3				5	2		12	4	2	1	5	6	53	
合計		40	71	30	23	15	51	32	2	17	23	7	4	5	11	15	346		

2017年 第37週 保健所別、年齢群別報告数(男女合計) No.2

		野田	柏市	松戸市	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計	
小児科定点数		4	8	16	11	11	10	16	16	3	4	6	4	3	4	8	7	131	
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月											1						1	
	1歳			2					1									1	
	2歳		1			1												2	
	3歳					1	2			1								4	
	4歳					2												2	
	5歳					1	1	1										3	
	6歳			1			1										1	3	
	7歳					1												1	
	8歳																		
	9歳								1	1								2	
	10～14歳			1		1												2	
	15～19歳																		
	20歳以上																		
	合計		1	4		7	4	2	2		1	1						1	23
手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月	2	1	2		1	1	1	2									3	
	1歳		12	37	24	45	37	29	34	2	17	5	2		1	9	4	258	
	2歳		13	26	15	15	11	20	22	2	7	2	1		4	2	1	141	
	3歳		8	16	7	16	7	15	20	2	5	2	3			5	1	107	
	4歳		13	9	10	11	9	4	13		5	3		1		2		80	
	5歳		3	6	6	6	8	2	5		3	3	1				2	47	
	6歳		1	6	1	4	3	6	4								2	25	
	7歳		3	2	1	2	1	3	1		1		1				1	16	
	8歳				1	1	1	1	4									1	10
	9歳		1			1		1								1			4
	10～14歳		2	1		2	4	3	9							1			22
	15～19歳																		
	20歳以上			1	2	1		2	1			2					4	5	18
	合計	2	60	125	73	112	86	100	122	7	49	17	8	1	7	25	17	811	
伝染性紅斑	～5ヶ月 ～11ヶ月																		
	1歳					1												1	
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳				1													1	
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
合計				1	1													2	
突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月		1	3	2	3	3	2		1		1					2	18	
	1歳		3	9	5	1	3	4	3		3						1	32	
	2歳				1			2										3	
	3歳																		
	4歳								1									1	
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
合計		4	12	8	4	8	8	4		4		1				4	57		

2017年 第37週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)														No.3		
		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海浜	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計
小児科定点数		4	8	16	11	11	10	16	16	3	4	6	4	3	4	8	7	131
百日咳	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
9歳																		
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		3																
ヘルパンギーナ	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
9歳																		
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計		2	29	27	23	21	26	30	29	12	13	10				5	11	238
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
9歳																		
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
合計				1	2	10	3	5	4	1				1	3	3	33	

2017年 第37週

保健所別、年齢群別報告数(男女合計)

No.4

		野田	柏市	松戸	市川	船橋市	習志野	千葉市	印旛	香取	海匝	山武	長生	夷隅	安房	君津	市原	合計	
インフル定点数		7	13	25	17	17	16	25	24	5	7	9	7	5	7	13	11	208	
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
	2歳												1					1	
	3歳																		
	4歳		1					3	1									5	
	5歳							3										3	
	6歳						2	1										3	
	7歳																		
	8歳								1										1
	9歳				1						1						2		4
	10～14歳		2		1			8	2	1							1		15
	15～19歳				2							1	1	2			3		9
	20～29歳														1		2		3
	30～39歳			1															1
40～49歳		1										1			1	2		5	
50～59歳						1												1	
60～69歳		1								1						1		3	
70～79歳																			
80歳以上																			
合計		1	5	2	2	1	10	9	3	4	2	3	1	1	1	11		55	
眼科	定点数	1	2	5	3	3	3	4	4	1	1	1	1		1	2	2	34	
急性 出血性 結膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
	2歳																		
	3歳																		
	4歳																		
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳																		
	9歳																		
	10～14歳																		
	15～19歳																		
	20～29歳																		
	30～39歳																		
40～49歳																			
50～59歳				1														1	
60～69歳																			
70歳以上																			
合計				1														1	
流行性 角結膜炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳											1						1	
	2歳				1			1								1		3	
	3歳								1									1	
	4歳			1					1									2	
	5歳																		
	6歳																		
	7歳																		
	8歳								1							1		2	
	9歳																		
	10～14歳								2									2	
	15～19歳																		
	20～29歳								1									1	
	30～39歳				2			1	3								1	7	
40～49歳								1							2		3		
50～59歳								1									1		
60～69歳																			
70歳以上																			
合計				1	3			2	11			1				2	3	23	

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <http://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2017年 第37週

発行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。